

大田区における精神保健事業の状況

1 地区担当保健師等による個別相談件数

各地域健康課にて、心の健康相談、診療を受けるにあたっての相談、認知症、アルコール・薬物等の依存症問題、思春期、社会復帰、ひきこもり等の相談など、保健・医療・福祉の広範囲にわたる相談を、地区担当保健師等が個別で対応しています。相談方法は電話・所内面接、家庭訪問など様々な手段で行っています。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談延件数	家庭訪問	2,015	1,750	1,650
	所内相談	3,216	2,772	2,642
	電話等	13,004	13,758	13,707
合計		18,235	18,280	17,999

2 精神保健福祉相談

各地域健康課にて、予約制による精神科専門医の精神保健福祉相談を実施しています。

実施地域健康課	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	回数	相談延人数	回数	相談延人数	回数	相談延人数
大森地域健康課	26	56	26	76	26	65
調布地域健康課	25	99	20	57	23	66
蒲田地域健康課	25	85	24	72	20	50
糀谷・羽田地域健康課	19	40	17	25	12	18
合計	95	280	87	230	81	199

3 家族教室

各地域健康課にて、区民やその家族、支援者向けに、精神疾患のテーマ別で疾病に対する正しい知識や対応方法などを情報提供する教室を開催しています。

テーマ	開催地域健康課	内容	参加延人数		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
依存症 ※1	大森地域健康課	2日制、医師の話・回復者の話	70	49 (1日制)	25 (1日制)
ひきこもり	調布地域健康課	2日制、医師の話・支援機関の紹介	46 (台風のため2日中止)	94	50
うつ病	蒲田地域健康課	2日制、医師の話・家族の対応について	25	39	51
統合失調症 ※2	糀谷・羽田地域健康課	3日制、医師の話・家族の対応について・当事者の話	84	21 (2日制)	中止

※1新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、令和2年度・3年度は1日制に変更

※2新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、令和2年度は2日制に変更、3年度は中止

4 アウトリーチ支援

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」の一環として、多職種による支援(アウトリーチ支援)を平成31年1月より開始しました。現在、大田区全体を精神保健福祉士2名で支援をしています(措置入院患者退院後支援の対応も含む)。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
精神保健福祉士数	1	2	2
アウトリーチ支援 実件数	4	7	9
延べ件数	4	7	14

5 措置入院患者退院後支援

平成30年3月発出された「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」に基づき、令和2年5月より「大田区措置入院者等退院後支援事業」を開始しました。

	令和2年度	令和3年度
実件数	3	4

6 入院精神障がい者数

	平成30年6月3日 時点	令和元年6月30日 時点	令和2年6月30日 時点
合計	815	826	812
3か月未満 (人)	163	220	197
(%：構成割合)	20%	27%	24%
3か月以上1年未満 (人)	196	163	164
(%：構成割合)	24%	20%	20%
1年以上 (人)	456	443	451
(%：構成割合)	56%	53%	56%
うち65歳未満	189	187	194
うち65歳以上	267	256	257

出典：地域精神保健医療福祉社会資源分析データベースホームページより
※令和3年度実績は、令和4年12月公表予定。

7 障がい者歯科相談

民間の障害者施設の通所者及び、区内に住所を有する精神障害者保健福祉手帳、身体障害者手帳又は愛の手帳の交付を受けた者で対象施設に通所していない方(在宅者)方に、歯科相談を行っています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施施設数	32	19	23
受診者数	335	226	275
在宅者数	1	0	1